

まんが時評

《くらさんの目を通して見たちょっと気になるニュース》

倉林 順一

なでしこジャパン “世界一” に！ 絆の勝利！



日本の女子サッカーチームなでしこジャパンが先日、ドイツで開催されたワールドカップで優勝の快挙を成し遂げた。決勝トーナメントに進出してから、ドイツ、スウェーデンの強豪を撃破。決勝戦で世界ランキング第1位のアメリカを破っての堂々の優勝だった。

疑う余地のない実力

これまで、その実力は国内外でも認められていたが、国際大会ではメダルに届かなかった。それがいきなりの世界一。「まぐれでは？」と疑う向きもあろうが、私は実力の勝利と確信した。世界の強豪の武器はパワーと高さだ。なでしこジャパンはその点の劣勢をスピードと技と組織力でカバーした。パス、ドリブルがうまい。小回りがきく。器用さは出場チーム中一番。決勝戦ではさらに神がかり的な精神力を見せた。点を取られたら追いつき、先行されても焦らず、延長戦残り3分でエース澤が同点ゴールを決めた。PK戦でも冷静さと緊張感を維持して奇跡を起こした。表彰式での笑顔はまさに世界一だった。

なでしこパワーを復興に！

メンバーは勝因を「団結力」「絆」と表現した。それは猛烈な練習に耐え、敵を知り、チーム内の意見を調整し、目標達成への戦略や意思をしっかりと共有して獲得したものだ。もちろん有能なリーダーがいてのことだ。なでしこはやり遂げた。

それにつけても政治家たちの復興ジャパンは何をしているのだ。なでしこ達やボランティア活動に団結力を発揮している高校生をみならってほしい。